

今日のトピック 最近の指標から見るブラジル経済(2014年11月) ルセフ政権2期目の経済政策に期待

ポイント1 景気低迷が続く

内需外需ともに弱い

- 9月の小売売上高は、前年同月比+0.5%と、3カ月ぶりのプラスとなりました。また、10月の失業率は4.7%と、2カ月連続で低下しました。消費は勢いを欠くものの、堅調な雇用情勢が今後も下支え要因になりそうです。
- 9月の鉱工業生産指数は前年同月比▲2.1%と、3月以降7カ月連続のマイナスになりました。10月の輸出は、欧州(全体の約20%)や中国(同約11%)向けがともに同▲40%前後と大幅に減少したことから、全体として同▲19.7%となりました。内外需ともに弱く、景気は勢いを欠く状況です。

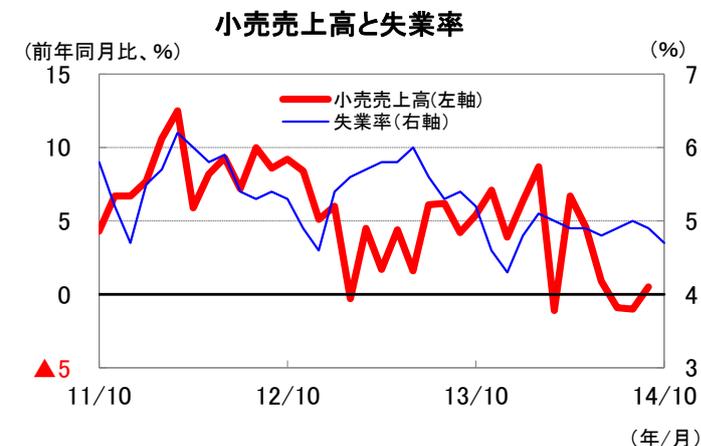
ポイント2 物価高が続く見込み

中銀は4会合ぶりに利上げ

- 11月前半の消費者物価指数は、前年同月比+6.42%と10月の同+6.59%を下回りました。物価上昇率は、電力料金の引き上げなどから中銀の目標(年+2.5%~+6.5%)の上限近辺で推移しています。
- 中銀は10月29日、4月会合ぶりの利上げを発表しました(政策金利を0.25%引き上げ11.25%に)。中銀は電力料金の引き上げや通貨安などによる物価高の長期化を懸念しています。

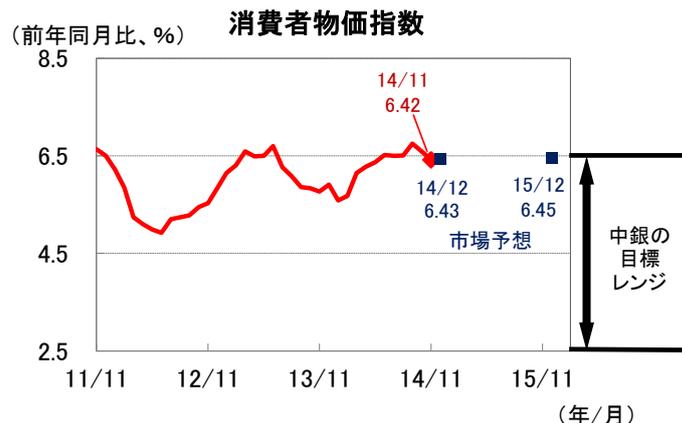
今後の展開 2期目を迎えるルセフ政権の経済政策に期待

- 中銀が11月24日に発表した調査結果によると、物価上昇率の市場予想は2015年12月に前年同月比+6.45%と高止まりが続く見込みです。市場では、中銀は景気低迷に配慮しながらも、次回会合(12月2日~3日)以降も利上げを続けるとの見方が大勢です。こうしたなか、ルセフ政権の経済政策に注目が集まります。



(注)小売売上高は2011年10月~2014年9月。
失業率は2011年10月~2014年10月。

(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注)データは2011年11月~2014年11月(2014年11月は月前半)。

市場予想は、ブラジル中央銀行が11月24日に発表した調査結果。
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2014年10月30日【デイリー No.1,979】ブラジルの金融政策(2014年10月)
2014年10月27日【キーワード No.1,441】大統領選決選投票の結果(ブラジル)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。